

	活動の基本目標（指針）	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	挨拶の励行	登館や下館時、食事の時の挨拶はしっかりとと言えるように職員からの声掛けも積極的に行った。次第にこどもたちからも自然と挨拶を行う人が増えた。
		手洗い消毒の励行	登館、帰館、外あそび後、食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。特におやつ前の手洗い、消毒には力を入れ、こどもたちも日常的に消毒をする児童が増えた。
		整理整頓の励行、遊具の使用法	自分の物は自分で管理するよう、荷物をロッカーに入れるよう声掛けをするが、ロッカーに入りきらない制作物などはロッカーの上に置いていたため、忘れることが多かった。また遊戯室のロッカーに誰のものなのか特定できないものが忘れられている時があった。ロッカーやポケットの物の入れ方がわかるように写真の表示をしていきたい。 外あそびのボールの使い方について、外遊びをすることもを中心にボールあそびのルールを改めて考え、それを張り出し他のこどもたちに周知をした。また雨が降った後の水浸しのグラウンドを遊べるように水をスポンジで吸う役割をこれまでは3年生以上でしていたが、こどもたちで話し合い2年生も水吸いをすることができるよう決めた。
	健康の管理・情緒の安定	お弁当いらないDAY	今年度は保護者会から支出をして頂いていた。児童にお弁当・パン・うどん、おにぎりの中からこどもたちが投票をして決め、意見を反映させたこともあり児童から好評だった。例年は夏休み2回の実施であったが、今年度は、保護者会の意向もあり、冬休みに1回実施している。
		登下館の安全指導	年度当初、集団下館にコース別に職員が付き添いながら、安全指導を行った。今年度は寄り道や他の人の家に寄るなどのトラブルはなかったが、下館中に走ったり、信号待ちの時に道路付近で遊んでいたことがあったので、その都度下館指導を行った。今後も定期的の下館の確認及び指導を行っていきたい。
	基本的生活習慣の確立	出欠確認・行動状況の把握	アプリや電話、口頭での連絡、確認の正確性に努め、必ず記録を残すようにしている。連絡のない未帰館児童には必ず保護者に連絡を取り所在確認を徹底した。ホワイトボードで使用するマグネットに貼る定例・申請時間のシールについて、一部間違いがあったため、二人以上で確認していく必要がある。
		心理・健康状態の把握及び対応	体調不良や日々の疲れを訴える児童に対して、保護者と連携して児童の状況を把握し個別の対応を行った。休息できる場所についてハード面は解決していないが、パーテーションを購入し、集団下館以降はそれを使い他児と隔離をしている。
	社会生活技術の獲得	おやつ提供	今年度より、班で島を作り提供をした。おやつ時間として確立することができ、昨年度課題であったおやつ時間と遊びの時間とのメリハリはつけることができるようになった。ただ高学年については登館の時間が遅く、おやつ時間以降で食べるが多くなったこともあり、食わずに持ち帰る人は数名いる。
		班活動	1～3年で班を作成し、昼食やおやつ時の机出し、机拭き、掃除機かけの当番活動をした。また高学年については長期休みに班を自分たちで作成し当番活動を行った。高学年も自分たちの役割として、スムーズに受け入れて活動していた。
		学習の習慣作り	宿題を強制していないが、机を出す場所を限定したり学習しやすい環境を作るよう心掛けた。宿題をする場所について、遊戯室の絨毯と育成室を設定しているが、絨毯でする人が多い。育成室に行く子が少ない為、絨毯でする人数が多い時は声掛けをして移動を促している。宿題をする時間については、こどもたちが各自で判断して決めていた。
子ども育成機能	おたん生日会	おたん生日会	月ごとに誕生日を祝うことができている。昨年度欠席の児童にカードを渡し忘れることがあったため、今年度は欠席した児童の分のプレゼントは、手紙入れ（ポケット）に入れて次回出席時に伝えて渡すようにした。また欠席児童も含めてその月の誕生日の人が誰なのかを他のこどもたちに周知して祝った。
		水あそび	3年以上、2年はせせらぎ公園で、1年は館のグラウンドで水遊びをする。昨年「一部こどもが行かないと申し出てきたことに対して、そのまま聞き入れ、本当は入りたかったが入れなかった」ということがあったため、今年度はあらかじめ保護者宛に体調不良及び保護者からの申し出があった時のみ不参加になる旨を伝えた。結果、出席者は全員それぞれの日程に参加。昨年度参加できなかった児童も今年度は参加でき、参加した児童は楽しんでいた。
	TAMARIBA夏まつり	ダンス発表	TAMARIBAにて行われたイベントに参加。ダンス披露後イベントに参加する。地域の方に見てもらえる機会となり、挨拶やお礼なども言っていた。
	TAMARIBA新春マルシェ	ダンス発表	TAMARIBAにて行われたイベントに参加。ダンス披露後、ワークショップや餅つきに参加した。ワークショップでは、障害を持たれている大人の方とも触れ合う場となった。
	北・上京・中央区 児童館 学童保育所ブロックまつり	ダンス発表	北文化会館にてダンスの発表を行う。前回と異なり舞台での発表、そしてトップバッターということもあり緊張すると思われたが、こどもたちは堂々と踊っていた。大勢の保護者や来客の前で披露できたことにより自信に繋がった。
	大宮商店街まつり	ダンス発表	大宮商店街のお祭りにて、ダンスの発表を行う。多くのこどもたちが参加し、それに伴い多くの保護者の方にも見ていただけの貴重な機会となった。
	スマイルフェスタ	ダンス発表	スマイルフェスタにて、ダンスの発表を行う。地域の方と交流を図り、学童クラブの保護者の方や老センの方、地域の方と遊びやダンスを通し多世代と交流することができた。
	鳳徳デイサービスとの交流	ダンス発表	鳳徳デイサービスの利用者の方とダンスの発表やパズルなどの遊び、質問コーナー、プレゼントの作成などを通し、交流を図った。普段関ることがない世代と交流する貴重な機会となった。今後も継続して行っていきたい。
	利用者共通アンケート		学童クラブ児童対象に実施。ほとんどの人がまじめに取り組んだ。内容がわからない、書き方がわからない1年生については個別に対応をした。取り組めていないかどうかが漏れないように確認をした結果、回収率が100%になった。

生活体験の拡大	ダンス練習	5月に通年で踊っているダンス、昨年度から取り組み始めたダンスの練習をする。この二曲はこどもたちも取り組みやすく、多くのこどもが参加をした。今年度も学童クラブの保護者の方に新曲の振り付けを作ってもらい取り組んだが少しリズムが難しく取り組むのが難しかった。曲選についてはこどもたちが踊りやすいものを選ぶ必要がある。ダンスが苦手な児童の対応についてはその都度職員の配置をして対応をした。
	おわかれ遠足	3年生を対象に遠足を実施。今年度もこどもたちの意見から「スポッチャ」へ行き、それぞれグループで遊びを楽しむ。交通ルールも特に問題なく、注意することもなかった。また参加率も高く、20名を越えての参加となり、目標としていた思い出作りができた。
	新入生歓迎会	3年生の児童があそびの発表をし、新入生への歓迎の気持ちを伝えた。3年生は、プラバンの製作も積極的に行ってくれた。プラバンをプレゼントされた1年生も喜んでた。
	むらさきのアドベンチャーズ企画	年5回、3年生が会議で決めた内容で、みんなあそびを実施。ドッジボール、ドッジビー、宝探し、新聞折ゲームなど様々な遊びを展開。3年生は司会や審判、景品作りなどそれぞれ役割もこなした。
	むらさきのアドベンチャーズ会議（こども会議）	3年生の有志が集まり、会議の名称から考え、みんなあそびの内容、役割を考え、意欲的に取り組む姿勢が見られ、男女問わずアイデアをたくさん出して盛り上がった。
	1年生会議	1年間児童館での思い出を具体的に用紙に書くことができた。また書いた内容について、それぞれ照れながらもはあるが一生懸命発表をしていた。用紙については後日掲示をし、迎えに来られた保護者の方にも見てもらっている。
	2年生会議	次年度学童クラブを引っ張っていくリーダーになる2年生が主体となり、おわかれ会の内容を話し合う。どんなことをしたいかなどの話や役割の話をする人、書記を自ら進んでする人など意欲的に参加する姿が多く見られた。なかなか話に入るのが難しかった児童も司会の役割を担うことで話の輪に入ることができている。
	3年生会議（おわかれ遠足・修了制作）	おわかれ遠足の内容決めや、大型修了制作を行う。遠足、制作の実施の有無を含め、自分たちで意見を出し合い、普段発言しない児童に対しても他の児童が発言を待つことで意見が言えたりなど、折り合いをつけながら決めることができ、楽しんで取り組んでいた。修了制作はきりえ部分とちぎり絵の部分があったため役割分担をして完成させた。
	図書館説明会	図書館職員からの説明を聞いた上で、新1年生も児童だけで利用できるようになる。図書カードの作成と図書の管理については、各家庭に任せている。8月までは上級生が付き添い利用し、その後は自分たちで1回30分の時間を守って利用している。
	こども夏まつり会議	3年生以上のこどもたちで会議を行い、コーナーの企画・運営を実施。今年も3年生のこどもたちは多くの意見を出した。4年生以上はコーナーについては希望制にしたが、希望者はいなかった。しかしエンジョイクラブのコーナー担当のこどもの人数が少なく、当日出席していた4年生以上にそのコーナーを手伝ってもらったことになった。
	クリスマス会会議	3年生を主とし、みんなのできる遊びの意見を出し合い、準備をした。男女問わず楽しく取り組み、アドベンチャーズ会議で培われた関係性もあって全体的に雰囲気も良かった。また実行委員も司会進行役を積極的に取り組んでいた。
	防犯教室	警察署の方に来ていただき、クイズ形式で楽しみながら防犯について学習した。不審者が現れたときに大声を出せるかの練習なども行い、こどもたちも意欲的な人が多かった。
交通安全教室	北警察署の方に来ていただき、交通安全の話聞く。交通ルールをクイズ形式で学ぶことができ、こどもたちもよく挙手をして答えていた。	
おわかれ会	2年生が主となり、みんなあそびを行う。2年生は司会やゲームの進行を行う。3年生は、修了制作の発表を行い、修了式で証書を授与している。ただ、ふざける場面があったので、固い雰囲気にする事ができなかった。	
子育てに必要な情報の提供と交換	子育てに必要な情報の提供と交換	今年度より、学童クラブの保護者へはアプリ「さくらdays」の配信の一本化にし、学校・地域関係のみ配布を行う。昨年度の課題であったアプリへの写真の掲載の確認については、年度初めに保護者の同意の可・不可を確認し対応をした。
	第一回 保護者懇談会	新入会のこどもたちを中心とした4・5月の学童クラブの様子をお伝えする。口頭だけでなく、写真や昨年度の過ごし方、行事の様子のスライドショーをスクリーンで見せたことにより、楽しそうに過ごしている姿を保護者に伝えることができた。ただ昨年度と異なり実施日を1回にしたことで、参加人数が半減してしまった。
	第二回 保護者懇談会	夏休みの過ごし方の説明と、6・7月の学童クラブの様子をお伝えする。第一回と同じく、スクリーンを使い説明を行った。また9月からの後期の分室登録の希望調査とともに、分室希望者が増えるように分室の開室からの人数の推移や様子、そして分室の課題などを伝えた。
	第三回 保護者懇談会	年間の子どもたちの様子（行事なども含めて）をスライドショーを用いて伝える。その後は、保護者の方の疑問点や、悩み事などをグループトークで職員と保護者とで円になり、話した。保護者からの意見、館からの意見など、複数人で話をする機会がなかったため貴重な会となったが、昨年度同様参加者は少なかった。
	個人懇談	6月・10月の二回、実施をする。普段の様子をお伝えするだけでなく、保護者からの相談や学校や家での様子も共有し、相互理解をすするとともに関係構築を計る場となった。
	登録説明会	新入会を予定している保護者に向けて、児童館事業・学童クラブ事業の説明、ウェブ上での申請の仕方等をスクリーンを用いて説明を行った。
	入会説明会	新入会の保護者に児童館・学童クラブの内容を添付資料を基に説明する。また連絡用アプリ「さくらdays」についての使い方（出欠席の連絡方法・アンケート機能）QRコードを用いての入退室の管理方法をタブレットを用いて具体的に説明することができた。また質問にも答える機会となった。
	利用者共通アンケート	学童クラブ保護者対象に実施。今年度もアプリでの実施となった。実施前にアプリ内にてアンケートについてのアナウンス（リマインドを含む）を行ったが、昨年度より回収率が下がった。自由記述については、ここ数年課題としてあげていた児童館の門についての指摘（安全面など）があげられ、年度内に電子錠を設置した。
自立の促進と自主性の尊重	1年生会議	1年間児童館での思い出を具体的に用紙に書くことができた。また書いた内容について、それぞれ照れながらもはあるが一生懸命発表をしていた。用紙については後日掲示をし、迎えに来られた保護者の方にも見てもらっている。
	2年生会議	次年度学童クラブを引っ張っていくリーダーになる2年生が主体となり、おわかれ会の内容を話し合う。どんなことをしたいかなどの話や役割の話をする人、書記を自ら進んでする人など意欲的に参加する姿が多く見られた。なかなか話に入るのが難しかった児童も司会の役割を担うことで話の輪に入ることができている。
子育てを支えるネットワーク形成	3年生会議（おわかれ遠足・修了制作）	おわかれ遠足の内容決めや、大型修了制作を行う。遠足、制作の実施の有無を含め、自分たちで意見を出し合い、普段発言しない児童に対しても他の児童が発言を待つことで意見が言えたりなど、折り合いをつけながら決めることができ、楽しんで取り組んでいた。修了制作はきりえ部分とちぎり絵の部分があったため役割分担をして完成させた。
	図書館説明会	図書館職員からの説明を聞いた上で、新1年生も児童だけで利用できるようになる。図書カードの作成と図書の管理については、各家庭に任せている。8月までは上級生が付き添い利用し、その後は自分たちで1回30分の時間を守って利用している。
	こども夏まつり会議	3年生以上のこどもたちで会議を行い、コーナーの企画・運営を実施。今年も3年生のこどもたちは多くの意見を出した。4年生以上はコーナーについては希望制にしたが、希望者はいなかった。しかしエンジョイクラブのコーナー担当のこどもの人数が少なく、当日出席していた4年生以上にそのコーナーを手伝ってもらったことになった。
	クリスマス会会議	3年生を主とし、みんなのできる遊びの意見を出し合い、準備をした。男女問わず楽しく取り組み、アドベンチャーズ会議で培われた関係性もあって全体的に雰囲気も良かった。また実行委員も司会進行役を積極的に取り組んでいた。
	防犯教室	警察署の方に来ていただき、クイズ形式で楽しみながら防犯について学習した。不審者が現れたときに大声を出せるかの練習なども行い、こどもたちも意欲的な人が多かった。
	交通安全教室	北警察署の方に来ていただき、交通安全の話聞く。交通ルールをクイズ形式で学ぶことができ、こどもたちもよく挙手をして答えていた。
	おわかれ会	2年生が主となり、みんなあそびを行う。2年生は司会やゲームの進行を行う。3年生は、修了制作の発表を行い、修了式で証書を授与している。ただ、ふざける場面があったので、固い雰囲気にする事ができなかった。
	子育ての仲間づくり	今年度より、学童クラブの保護者へはアプリ「さくらdays」の配信の一本化にし、学校・地域関係のみ配布を行う。昨年度の課題であったアプリへの写真の掲載の確認については、年度初めに保護者の同意の可・不可を確認し対応をした。